

## 6. 生活環境・防犯防災部門

### やさしさと安心のまち

【ありたい姿】12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

- ・ 災害に強いまちの形成
- ・ 消防・救助・救急体制の充実
- ・ 防犯対策・交通安全対策・消費者保護対策の推進

### 自然と共生するまち

【ありたい姿】15. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている

- ・ 脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生

【ありたい姿】16. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

- ・ 快適な生活環境の充実

## 基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

## 基本計画

**政策名** 災害に強いまちの形成

### 現 状

- ・近年の異常気象による浸水被害や土砂災害等が増加しています。
- ・土砂災害及び浸水の想定区域や避難所等を表示した総合防災マップを作成、全戸配布しています。
- ・天草市一斉避難訓練及び地域独自の避難訓練等を実施し、防災講話や実技指導へ市職員・消防署員・熊本県職員等を派遣しています。
- ・防災行政無線の整備（戸別受信機含む）により本庁での一体的な運用と全国瞬時警報システム（J-ALERT）との自動接続を行っています。
- ・業務継続計画（BCP）に基づき、災害発生時にあっても優先的な業務を特定し、適切な業務執行ができています。

### 課 題

- ・災害時には多重多様な情報伝達手段を用いて、災害情報や避難情報等が市民に確実に届き、情報発信漏れや逃げ遅れ等を防ぐ必要があります。
- ・大規模災害時には、行政の対応には限界があり、自助・共助の取り組みと支援体制の充実が求められています。
- ・自主防災組織を中心とした地域の防災力を高める必要があります。

### 施策計画

#### 1. 地域ぐるみの防災活動の推進

- ・防災行政無線戸別受信機の全戸設置や天草市安心・安全メールの登録、コミュニティFMの聴取等、全市民があらゆる情報収集手段を取得できるよう広報等に取り組めます。
- ・一斉避難訓練や独自訓練について、総合防災マップを活用した図上訓練及び実践的な訓練に取り組めます。
- ・自主防災組織活動充実のため、防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を推進します。

成果指標	指標名	調査方法
		自主防災組織で行った訓練の割合

## 2. 災害時の支援体制の充実

- ・災害時応援協定締結団体との連携強化を図るとともに、新たな分野の防災関係機関との応援協定締結を推進します。
- ・適宜、地域防災計画の見直しを行うとともに、業務継続計画（BCP）の定期的な見直しも行い、また、訓練を通して計画の充実を図っていきます。

成果指標	指標名	調査方法
	災害時応援協定数	独自協定集計

### 関連する SDGs ゴールマーク



## 基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

## 基本計画

**政策名** 消防・救助・救急体制の充実

### 現 状

- ・ 消防、救急、救助業務を行う天草広域連合消防本部の各消防署庁舎や資機材、車両の整備等の経費負担を行っています。
- ・ 消防団員は、市民の生命、身体、財産を火災や災害から守ることと、団員としての質の向上を目的として、各種訓練を計画的に実施し、必要な知識・技術習得の研鑽に努めています。
- ・ 消防格納庫、防火水槽、消火栓を整備し、初期消火の体制の強化を行っています。

### 課 題

- ・ 地域の消防・防災の要である消防団員数が減少傾向にあり、入団促進と活動しやすい環境整備を行っていく必要があります。
- ・ 資機材等の更新、防火水槽や格納庫の整備など、消防施設の充実強化は、迅速な初期消火活動及び防火活動に必要不可欠であり、今後も計画的に進めることが必要です。

### 施策計画

#### 1. 消防・救助・救急体制の整備

- ・ 消防団員の確保については、活動への事業所の理解と協力を得るため、消防団による地域事業所訪問を行い、従業員の勧誘活動に取り組みます。
- ・ 消防設備、資機材については、更新や修繕、改修等による計画的な整備を図るとともに、定期的な点検を行うことによる長寿命化に取り組みます。
- ・ 天草広域連合消防本部と連携し、消防・救助・救急体制の強化に取り組みます。

成果指標	指標名	調査方法
		消防団員数

### 関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

- 【理念】 やさしさと安心のまち  
 【ありたい姿】 12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

基本計画

**政策名** 防犯対策・交通安全対策・消費者保護対策の推進

**現 状**

- ・ 犯罪のないまちづくりを目指し、防犯に対する様々な事業を展開しており、犯罪認知件数は減少傾向で推移しています。
- ・ 交通事故防止を図るため、交通安全に対する様々な事業を展開しており、交通事故件数は減少傾向で推移しています。
- ・ 消費者被害の未然防止と救済に向け、市民が気軽に消費生活相談を受けられるよう天草市消費生活センターを設置し、複雑・多様化する消費生活問題を解決するための支援を行っています。

**課 題**

- ・ 依然として空き巣や窃盗等の街頭犯罪・侵入犯罪が一定数発生しているため、犯罪抑止に向けたパトロール及び見守り体制の強化が必要です。
- ・ 薄暮時における無灯火車や、店舗等の駐車場内における物損事故、横断歩道の一時停止義務違反など、人身事故につながりかねない事案への対策が必要です。
- ・ 年々悪質巧妙化している消費者詐欺の被害防止のため、年代にあった効果的な周知・啓発並びに支援体制の充実を図る必要があります。

**施策計画**

1. 防犯対策の推進

- ・ 防犯協会と連携し、防犯ボランティア団体の結成や充実に向けた支援を行います。
- ・ 関係機関（警察署、防犯協会、地区振興会、防犯ボランティア団体等）との連携を強化し、犯罪の未然防止に努めます。
- ・ 防犯カメラの普及促進並びに天草市安心・安全メールや市広報誌等を活用し、防犯情報の発信と普及活動に努めます。
- ・ 行政区への防犯灯設置支援並びに学校通学路への防犯灯の設置により、夜間における犯罪、事故等の未然防止及び安心・安全の向上を図ります。

成果指標	指標名	調査方法
	犯罪認知件数	警察による統計

## 2. 安全な交通環境の充実

- ・交通事故を防止するため、参加・体験・実践型の交通安全教育の推進に取り組みます。
- ・歩行者の安全確保及び事故防止を図るため、反射材用品の普及に努めます。
- ・関係機関（警察署、交通安全協会、安全運転管理者等協議会等）との連携を強化し、地域に根差した交通安全の各種課題の解決に取り組みます。
- ・交通安全施設は、「通学路安全対策連絡協議会」との連携により、通学路の整備を進め児童生徒、地域住民の安全性の向上に努めます。

成果指標	指標名	調査方法
	交通事故発生件数	警察による統計

## 3. 消費者保護の推進

- ・年々悪質巧妙化する消費者被害の未然防止と救済に向け、関係機関と情報の共有化を図り、消費者トラブルにあわないための啓発活動及び消費生活全般にわたる相談受付や助言を行います。
- ・配慮を要する高齢者等の被害防止と救済活動のため、関係機関と連携して見守り支援体制の充実を図ります。
- ・弁護士無料法律相談会を開催し、多重債務問題や法律上の悩みを抱える市民の不安解消に努めます。

成果指標	指標名	調査方法
	消費生活啓発講座の参加者数	独自調査

## 関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 自然と共生するまち

【ありたい姿】 15. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている

基本計画

**政策名** 脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生

**現 状**

- ・地球温暖化に伴う気候変動により、温室効果ガスの削減に対する市民の意識や関心が高まっています。
- ・太陽光発電による再生可能エネルギーの導入が増えています。
- ・早崎海峡海域には、漁業者と共存した野生のイルカが生息しています。
- ・海、川、山などの豊かな自然に、多種多様な生物が生息・生育しています。
- ・自然環境を守るため、環境保全活動が行われています。

**課 題**

- ・地球温暖化対策防止に向けた温室効果ガスの排出量を削減するための具体的な取り組みを行う必要があります。
- ・豊かな自然を地域の財産として後世に引き継いでいくため、環境保全活動に取り組む必要があります。

**施策計画**

1. 脱炭素社会の実現

- ・再生可能エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システム及び蓄電システムの設置を推進します。
- ・大規模太陽光、風力、水力、バイオマス等の発電システムについても、官民一体となって環境にやさしいまちづくりを進めます。
- ・省エネルギーやエネルギーの地産地消を推進するとともに、森林・里地里山の保全再生に取り組み、温室効果ガスの排出抑制を図ります。
- ・市が率先して、電気や水の節約、冷暖房のこまめな調節を推進します。

成果指標	指標名	調査方法
		市全体の温室効果ガス排出量

2. 自然環境保全活動の推進

- ・ 動植物、生態系、水資源などの自然環境の保全または創造に関する里地・里山・里海づくり等の各施策について、他の部門の政策、施策計画と連携を図りながら、総合的かつ計画的に実施します。
- ・ 各種団体等と連携を図り、学びの場を広げるとともに、市民等が自主的に実施する環境美化活動を推進します。

	指標名	調査方法
成果指標	環境保全活動を行っている市民の数	ボランティア活動の把握

関連する SDGs ゴールマーク



## 基本構想

【理念】自然と共生するまち

【ありたい姿】16. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

## 基本計画

政策名 快適な生活環境の充実

### 現 状

- ・工事等に伴う騒音・振動や、悪臭、空き地に繁茂した雑草に関する事など生活環境に影響を及ぼす相談が多数寄せられています。
- ・野良猫、野犬等による生活環境被害の相談と併せて、ペット飼育者のマナーに関する事など、動物に関する苦情や相談が多岐に渡り寄せられています。
- ・環境美化推進員による分別指導や環境学習の実施、各種メディアによる周知啓発により市民の環境に対する意識や関心は高まっていますが、不法投棄が後を絶ちません。
- ・少子高齢化などの影響による人口減少が進む中、ごみの総排出量は減少していますが、1人1日当たりのごみ排出量及び資源化率については横ばいで推移しています。
- ・環境施設等については、老朽化が進むなか、補修等を行い施設の長寿命化を図っています。

### 課 題

- ・騒音・振動・悪臭などの公害については、各法令に照らし対応し、また、住宅地等における雑草繁茂については、所有者に適正管理をお願いしているが、市外在住者等については、対応が困難な場合もあります。
- ・ペット飼育者のマナー指導については、強制力がないため、注意するに留まっており、引き続き飼育者へ対し意識啓発を行い、周囲へ配慮する意識を高めていく必要があります。
- ・自然景観及び環境に悪影響を及ぼす不法投棄への防止対策や不法投棄物の回収により、生活環境の保全及び良好な自然景観の維持に努める必要があります。
- ・ごみの減量・資源化は、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用いわゆる3Rを基本とする取り組みなどの環境教育を推進し、広く市民へ周知・啓発を図ることで「ゼロ・エミッション」の取り組みをさらに進める必要があります。
- ・環境施設については、施設の老朽化も進行しており、計画的な改修や更新を行う必要があります。

## 施策計画

### 1. 生活環境の充実

- ・ ペット飼育者のマナー向上のための啓発を推進します。また、獣医師会と協力し、避妊・去勢手術の取り組みを推進し、さらに、狂犬病の発生・まん延を防ぐため、予防注射の接種率の向上に努めます。
- ・ マイクロプラスチック等の環境問題に対応するため、ごみのポイ捨て防止を促す啓発活動やごみステーションによる効率的な回収活動を実施するとともに、マイバック、マイボトル持参の推進を図るなど、市民と行政が一体となって環境美化に取り組めます。
- ・ 公衆衛生施設の快適な利用に向けて適正な運営を図るとともに、耐用年数を迎えている施設については、設備等の定期的な点検結果をもとに、改修を行い施設の長寿命化を図ります。

成果指標	指標名	調査方法
	生活環境に関する苦情件数	要望記録票集計

### 2. ごみ減量化・資源化の推進と循環型社会の実現

- ・ 各種団体等への3R（発生抑制・再使用・再生利用）を基本とする環境学習を通じた啓発活動に努めます。
- ・ 各種メディアによる周知活動により市民の環境に対する意識向上に努めます。
- ・ 生ごみ処理容器等設置及び資源物回収活動団体への支援を行うとともに、美化推進員等との連携を強化します。
- ・ 事業系の一般廃棄物の分別・収集と資源化の徹底を図ります。
- ・ 美化推進委員など市民の方々と協働してプラスチックごみの排出抑制やプラスチックごみの資源化の取り組みを推進します。
- ・ 環境施設等については、計画的な補修等を行い、施設統合を見据えた維持管理を行ないます。

成果指標	指標名	調査方法
	資源化率	ごみ処理施設のごみ搬入量データ

## 関連する SDGs ゴールマーク

